デバイスの概要

ダッシュボード → デバイス
でデバイスの行をクリックして、デバイスを開きます。ページタイトルには、デバイスの モデル
（利用可能な場合）と内部 **ID**が表示されます。

履歴データと現在の登録

デバイスに複数の登録がある場合、 Cerberus Enterprise
は読み取り専用の履歴レコードを表示できます。その場合、ページには 履歴データ
バナーと、現在の登録データに戻るためのボタンが表示されます。

上部のフィールド

上部のセクションには、デバイスの識別情報、割り当て、管理状態がまとめられています。一部のフィールドはプラットフォーム固有で、 Android または Apple デバイスにのみ表示されます。

- **ID**および モデル ：読み取り専用の識別子。
- ユーザー
  ：現在割り当てられているユーザー（存在する場合）を表示します。ユーザーメニューから
  ユーザーを開く または ユーザーを変更
  を実行できます。ユーザーが設定されていない場合は、ユーザーを割り当てることもできます。
- 管理モード および 所有権 ： UI ではツールチップ付きで表示されます。
- 状態 ：現在のデバイス状態 (アイコンとツールチップの詳細付き)。紛失モードのデバイスは、
  Android と Apple の両方で 紛失
  と表示され、ページ上部のバナーに次に行うべきことが表示されます。
- **ADE** プロファイル （ Apple のみ）：割り当てられた Automated Device Enrollment
  プロファイル（存在する場合）を表示し、開いたり変更したりできます。
- ポリシー
  ：割り当てられたポリシーを表示し、開いたり変更したり、ポリシーが設定されていない場合は割り当てたりできます。
- ポリシーのコンプライアンスステータス
  （ポリシーが割り当てられている場合）：デバイスがコンプライアンスに準拠しているかどうかを示します。
- ポリシーバージョン
  （ポリシーが割り当てられている場合）：デバイスに最新のポリシーバージョンが適用されているかどうかを示します。

Cerberus Enterprise アプリ (iPhone と iPad のみ): Cerberus がデバイスにインストールする
Cerberus Enterprise アプリの状態。 利用不可 (iOS または iPadOS が 18.4
より古い、会社デバイスにシリアル番号がない、または個人デバイスに Managed Apple Account
がない); 個人デバイスではまだ利用できません ; デバイス情報を待機中 ; Managed Apple
Account のユーザー ライセンスを待機中 (個人デバイスで、 Apple
がライセンスを確認している間); 未インストール (アプリが Apple Business
ライブラリにない、または Apps and Books が設定されていない。 アカウント設定
へのリンク付き); インストール済み · Apps and Books の対応が必要 (
トークンが期限切れ、またはアプリがライブラリから削除された。アプリはインストールされたま
ま); 構成を利用できません ; インストール中 … (デバイスが 30 分間ステータス
レポートを送信しない場合、ツールチップにデバイスがオンラインであることを確認して再起動す
るよう提案され、通常はインストールが再開されます); ユーザーの承認を待機中 ;
ユーザーが拒否しました と インストールに失敗しました (どちらも 再試行
付きで、デバイスに再度要求します); インストール済み · アプリの起動を待機中 (
アプリがまだ開かれていない); インストール済み · 構成が受け入れられませんでした ;
および、アプリが登録されると、そのバージョン、最後の通信、通知がオンかどうか。
登録日 および 最終ステータスレポート ：登録と最後に報告されたステータスのタイムスタンプ。
登録解除日 ：デバイスの登録が解除されたときに表示されます。

一部のデータとパネルは、デバイスポリシーで対応するカテゴリが有効になっている場合にのみ利用

できます。詳細については、 ステータスレポート と位置情報とジオフェンス
のページを参照してください。

パネル
デバイス
ページは展開可能なセクションで構成されています。プラットフォームと状態に応じて、次のパネルのいず
れかまたは複数が表示されます :

位置情報マップ ：現在のデバイスの 位置情報 履歴と、 Android デバイス、 iPhone および iPad
ではジオフェンス遷移用の ジオフェンス タブを備えたタブ付きパネルです。
SIM 管理 ：デバイス EID とインストール済みの SIM および eSIM。Android ではさらに eSIM
コマンドとその履歴、会社所有の iPhone およびセルラー対応 iPad
ではさらにデータローミング、インターネット共有、 セルラープランを更新

も表示されます。専用の SIM 管理 ページを参照してください。
コマンド ：デバイスにコマンドを送信し、コマンド履歴を表示します（プラットフォーム固有）。
セキュリティ体制 : デバイスのセキュリティ状態とリスク。 Android では Play Integrity
の判定も含まれます。デバイスが報告するまでは 未指定 、セキュリティ
データをまだ送信していない Android デバイスでは まだ報告されていません と表示されます。
デバイスがコンプライアンスに違反している理由 :
デバイスがコンプライアンスに違反している場合にのみ、赤いアラート

アイコンとともに表示されます。開くと理由を確認できます。 Android では違反しているポリシー設定が一覧表示され、 Apple ではコンプライアンス
ルールがデバイスをブロックしたかどうかも表示されます。
デバイスステータス （Apple のみ）： OS
バージョン、ソフトウェアアップデートの進行状況、パスコード、 FileVault 、デバイスから報告されたバッテリーとアカウント、および利用可能な OS アップデート。

コマンド ページを参照してください。
アプリケーション (Android): インストールされているアプリとそのフィードバックおよびエラー
レポート。
アプリケーション （Apple
のみ）：ポリシーによってインストールされたアプリ、コマンドでインストールされたアプリ、ユ ーザーによってインストールされたアプリと、それらのインストール状態、エラー、アクション（
再試行、削除）。 Mac
では、ポリシーによってインストールされたパッケージも一覧表示され、その状態と
再インストール が表示されます。管理対象アプリとしてインストールされたパッケージには
管理対象
チップが付き、パッケージが管理対象外でインストールされた日時と理由、またはダウンロードか
ら 1時間後にアプリが見つからなかった場合に注記が表示されます。 iPhone および iPad では、
Cerberus Enterprise アプリに Cerberus によるインストール チップが付きます。このアプリは
ポリシー
フィルターには表示されません。デバイスが管理対象構成を受け入れなかったアプリには、
構成が受け入れられませんでした チップが付きます。個人所有の iPhone および iPad（User Enrollment）では、 App Store アプリのユーザーライセンスを使用する Managed Apple Account が 1行で表示され、ライセンスの付与を待機しているアプリには
ユーザーライセンスを待機しています または ユーザーライセンスに失敗しました
が表示され、ユーザーがインストールプロンプトをキャンセルしたアプリには
ユーザーによるインストールの承認を待機しています が表示され、 再リクエスト で Apple
にライセンスを再度要求するか、プロンプトを再度表示します。 コマンド
ページを参照してください。
プロファイル、証明書、セキュリティ （Apple
のみ）：デバイスから報告された構成プロファイル、証明書、セキュリティ状態。
インベントリの変更 （Apple
のみ）：デバイスでインストール、削除、更新されたアプリ、プロファイル、証明書のタイムライ

ン。種類と変更内容で検索・フィルタリングできます。 コマンド ページを参照してください。
Shared iPad ユーザー と Mac ユーザー (Apple のみ): Shared iPad のユーザーと Mac のユーザー。 コマンド ページを参照してください。
ステータスレポート
：デバイスから報告された追加データを、カテゴリと値のツリーとして表示します。
登録履歴 ：この同じ物理デバイスの以前の登録を一覧として表示します。

位置情報パネルのタブ

位置情報マップ パネルでは、タブを使用して位置情報履歴とジオフェンスの出入りを分けて表示します。

位置情報
：現在のデバイスの履歴フィルター、日付範囲検索、位置情報マーカー、精度サークル、ライブ追
跡コントロールを表示します。
ジオフェンス （Android、 iPhone、 iPad
）：専用のマップにジオフェンス遷移履歴を表示します。期間フィルター、アーカイブされたジオ
フェンスのオプションの切り替え、遷移のサイドリストがあります。 iPhone および iPad では、デバイスでジオフェンスが機能できない場合にステータス行にも表示されます。

これらのタブの完全な動作については、 位置情報マップ を参照してください。

アクション
ページの下部では、プラットフォーム、デバイスの状態、ライセンスの状態に応じて、データを更新したり
アクションを実行したりできます。

データを更新 ：デバイスレコードを再読み込みします。
デバイスを無効化 / デバイスを有効化 （Android
のみ）：サポートされている状態で使用できます。
デバイスの登録解除
：デバイスから管理を削除します。正確な動作はプラットフォームと所有権によって異なります（
たとえば、 Android
ではワークプロファイルのワイプまたは工場出荷時リセットが行われる場合があります）。
デバイスを削除
：デバイスがすでに登録解除されており、そのレコードを削除できる場合に使用できます。

Revision #60
Created 2025-12-17 10:39:45 UTC by Admin Updated 2026-11-12 09:56:01 UTC by Admin